つるさき

発行所
鶴崎神社
〒701-0304
早島町早島2220
TEL 482-0097
FAX 697-6067
IP-phone
050-3318-1809
URL
http://www6.ocn.ne.jp/~turusaki/

満開の桜に映える本殿

報賽　カエリモウシ

それは寒い夜の事でした。神社に一本の電話が掛かり、受験生の母親の声で「難関でしたが、神様にご祈祷して戴いたお蔭で無事希望の大学に合格致しました。つきましては、明日御礼詣りをさせていただきたいのですが…」

「それはおめでとうございます。どうぞお詣り下さい。」ということで、翌日、キチッとスーツを身につけた親子三人が挨拶に見えられました。

早速、拝殿に案内すると、三人揃って神様に深々と頭を下げて、長い間お詣りをされていました。誠に微笑ましく、こちらまで嬉しくなるような出来事でした。

それから後にも「御礼詣りに来ました。」という何組かの家族に出会いました。

この御礼詣りの事を神社では報賽（ほうさい）と言い、返り申しとも言います。

人に頼み事をして願いが叶えば御礼を言う事と同様に、この報賽の心が受け継がれていることは、正に日本の美風でしょう。来春も大勢の報賽の姿を見たいものです。

神道Q&A

【質問】

遷宮を契機に伊勢神宮では大勢の参拝者で賑わっているようですが、伊勢の神宮と全国の神社との関わりについて教えて下さい。

【答え】

伊勢の神宮は一般的には「お伊勢さま」「大神宮さま」と呼ばれていますが、正式には「神宮」と称し、我々日本人の心のふるさととして古くから親しまれて参りました。

「伊勢の神宮」とは、天照大御神を祀る皇大神宮・内宮と豊受大御神を祀る豊受大神宮・外宮の両宮をはじめとして、別宮・摂社・末社・所管社合わせて百二十五社を総称していいます。

その中でも内宮の御祭神である天照大御神は皇室の御祖神として貴い御存在であるとともに、常に我々国民をお守りくださっている日本の総氏神様であり、全国で約八万社ある神社の中でもその根本となるお社です。

しかし神社の場合、寺院などに見られるような本山末寺といった上下の地位を表す関係はありません。

神道の祝詞の中で古い形態をのこす「大祓詞」の内容は、八百万の神々が集まり、話し合いを重ねた結果、皇孫に豊葦原の瑞穂の国（日本の国）を安らかな国として治めるようにと御委任なされたことが記され、天孫降臨に際して国つ神である大国主命が天照大御神の御子孫に国を譲り渡したように、多くの神々との関係においても、それぞれの神々の立場が尊重され、話し合いの精神を以て諸事が決せられていたことが分ります。

こうした考え方は現在の私達にも受け継がれている我が国の美風ともいうべきことです。

この神々の関係は神社についても同様にいえることで、現在、全国の神社の多くは神社本庁のもと、各神社ごとにそれぞれの神々を祀り、お祭りが厳粛におこなわれるようにつとめており、神社界全体としては伊勢の神宮をはじめ、全国の神社の振興を図るための諸活動がなされています。

このことからも、伊勢の神宮を格別なる御存在として神社本庁が特に本宗と仰いでいるのは、全国神社の総意に基づくことといえます。

縁結びの木の隣にお目見えした絵馬掛け

縁結びの木に「絵馬掛け」ができました

境内にある縁結びスポット「縁結びの木」に願いを託せるようにと、新春に間に合わせ絵馬掛けを作製致しました。

当社オリジナルのハート形絵馬は社紋の夫婦のツルが描かれており、社務所にて随時授与しております。

安原伝兵衛物語

3

神主は本家と安原家の不始末を既に知っていた。

「えらいことになったそうじゃな。親父はどうしてる？」

おかァが嗚咽をもらした。

「そのことで神主さんにちいと相談に乗ってもらえんじゃろか。」と伝兵衛が切り出すと、「銭の話ならどうにもならんぞ」、神主があわてた。（やっぱり人は良いけど、肝っ玉は小さい）「銭やのうて、うちの隠田のことじゃ。あれを取られたら一家五人飢え死にじゃけん、神主さんは神社の田だと言うてもらえんじゃろか、儂、男じゃけん、体張って頑張りますけん、力を貸してつかあさい。」

「伝兵衛よう言うたな。さすがはワシの教え子じゃ。言う通りにしちゃるけんな。」

隠田とは御崎宮の裏山続きにある実りの少ない痩せ田だ。

親子は神主に礼を言って家路を急いだ。おばァに報告すると、「隠田があれば、粥ぐらいすすれんことはなかろうよ」と言い、少しはほっとした様子だった。

眠れぬ夜が明けた。

伝兵衛は隣村の許嫁おさきを訪ねた。撲られた顔の腫れはひかず、目の周りは赤黒い痣になった。

（全くひどい顔だ。でもおさきの心配を拭ってやらねば……、悪い噂は届いているかもしれない）

陽が沈むのを待ちかねて畦道を急いだ。暗くなれば顔も少しは目立たぬだろう。

玄関に立つと、奥から賑やかな話し声が聞こえた。

「安原の伝兵衛ですがのう」

一瞬家の中が静かになった。しばらくして、おさきの父親が現れた。伝兵衛の挨拶をさえぎって、「残念じゃけんど、おさきとの話はなかったことにしてつかあさい」と固い表情で言った。

伝兵衛は言葉を失った。

「理由は判っとるじゃろう」

「……」

「恥をさらす前に戻った方がよかろう」

「しやけど、おさきさんに挨拶を」

「無駄なことはせんでいい」

結局おさきは現れなかった。

伝兵衛は屈辱で顫え目は眩らんだ。あの愛しい仕草や言葉は何だったのだ。若い娘なんか信じられない。この親父だって今までなんて言ってた……、よい婿じゃ、願ってもない良縁だなどなど、全ては嘘っぱちだったのか。次から次へと怒りや愚痴が心をかき乱し、悔し泣きで足取りが乱れた。

すぐに家に戻る気にはなれなかった。御崎宮の石段に座り頭を整理した。鎮守の森で梟が鳴いている。梟も一人ぼっちで寂しそうだ。悔しいけど今は何を言っても愚痴になるし、怒鳴ってもそれは負け犬の遠吠えだ。

（家はどん底まで落ちてしもうた。しやから世間体なぞかまうことはなかろう。盗人と乞食以外は何なとやってみるか）

大雪の被害

二月八日、朝起きてみると一面銀世界であった。

この地方では珍しい春雪で、水分を多く含んだ雪は二十㎝近くはあっただろうか。

昼近くまで降り続いたので、とうとう重さに耐えかねたクスの枝が大きな音を立てて何本も折れて落下した。県南の樹木は雪にはとても弱い事を教えられた。

御本殿の大屋根から落下して堆積した雪

雪の重みに耐えかねて折れたクスの枝

い草のジャンボ干支登場

平成十四年（午年）からその年の干支を折り紙で表現して、参拝者に喜んでいただこうと「干支ジャンボ折り紙」の作製を続けて来ましたが、昨年の巳年で干支が一巡しました。

「折り紙を続けて下さい。」との要望や惜しむ声もありましたが、心機一転新たな十二年を切り開くべく、次の企画を模索していました。

かつて早島や豊洲の特産であった「い草」を使って干支を作る事を思いつき、氏子の有志の方々の協力を得て「い草のジャンボ干支」を境内に設置して正月の参拝者を迎える事ができました。来年も乞御期待。

神社検定を知っていますか？

神社検定（神道文化検定）は、神社が好きな方や、日本文化をもっと知りたい方のための検定です。

空前の神社ブームも影響してか、神社の参拝者は急増し、神社に対する社頭での質問も多く聞かれるようになりました。

そんな中、より多くの方々に神社についての正しい知識を学んでいただき、「日本のこころ」を再発見していただくため、神社本庁監修のもと、神社検定はスタートして三回目を迎えました。

公式テキストは書店等で販売していますので、興味のある方は受験してみては如何でしょう。

申し込み及び検定会場は下記の通りです。

神社検定　神道文化検定

◆岡山県神社庁
岡山市中区奥市三-二三
☎〇八六-二七〇-二一二二
◆日　時　六月二十九日（日）
◆〆　切　五月十二日
詳細は神社検定で検索して下さい。
http://www.jinjakentei.jp/

諸祈祷・出張祭の案内

◆初宮詣・交通安全・厄除・安産・家内安全・当病平癒その他
◆地鎮祭・上棟祭・家移清祓・宅神祭・神葬祭等
ご希望の方は前もってご連絡下さい。

祭事暦

五月十七日（土）［午後七時］
八幡神社春季大祭
（露店あり）
五月十八日（日）［午前十時］
鶴崎神社春季大祭
【供膳祭】
七月三十日（水）［午後五時］
夏越祭【輪くぐり祭】
（露店あり）
毎月一日（午前九時）月次祭